

様式第1（第15条関係）

会 議 録

会議の名称	令和7年度和泉市人権啓発活動(エンパワメント活動)助成金審査委員会
開催日時	令和7年7月25日(金) 午後1時45分～3時まで
開催場所	和泉市コミュニティセンター 中集会室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和泉市人権啓発活動(エンパワメント活動)助成金審査委員 園田委員、森委員、小林委員</li> <li>・事務局 小池（人権・男女参画室長） 樋上（人権・男女参画室 人権・男女参画担当課長）、 中野（人権・男女参画室 人権・男女参画担当総括主査）、 味谷（人権・男女参画室 人権・男女参画担当主査） 伊藤（人権・男女参画室 人権・男女参画担当主事）</li> </ul>
会議の議題	令和7年度和泉市人権啓発活動(エンパワメント活動)助成金交付申請に係る助成金の適否について
会議の要旨	令和7年度和泉市人権啓発活動(エンパワメント活動)助成金交付申請に係る助成金の適否について審議を行った。
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input checked="" type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
その他の必要事項	傍聴人：0人

審 議 内 容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

(事務局)

開会宣言及び室長挨拶

「和泉市助成審査委員会規則」による 委員長の選出

事務局により議事進行

「和泉市審議会等の設置及び運営に関する規則」に基づき傍聴者の入室を認めていたが、傍聴者なし

本日の会議の議事録公表については、委員名簿は氏名を公表、本会議の個々の発言の要旨については、単に委員と表記し要点記録とする旨及び最終の議事録作成については、事務局に一任することを全委員了承。

(事務局)

審査基準表等について説明

応募団体数(3団体)及び進行方法(1団体、説明5分/質疑3分/合計8分、入れ替え2分)、審査基準について説明

【各団体より説明及び委員質疑】

==障がい福祉を勉強する会==

事業名：『障がい福祉を勉強する会』

障がい福祉を勉強する会は、13年目になる。障がい者・児の現状を理解してもらうことや、勉強する必要性を伝えるための事をしている。

去年の活動報告として、6月29日は、「就労継続支援B型について」福祉学習会を実施し、会場16名の方が来られた。

11月30日は、「防災ジェンダーと福祉」講演会を実施し、29名の方が来られた。

2月22日は、「居宅介護を通じて発達障害を知る」講演会を実施し、32名の方が来られた。

8月31日に予定をしていた、デフリンピックの講演会については、台風の為中止になった。

発達障害を知る講演会について、32名と多くの方が来られているので、発達障害についての関心が高まっているのかなと思う。

趣旨として、障害者の法律を学ぶ、障害者の情報交換、多様な障害のある者への支援を行う、啓発推進という4

つを目的に行っている。

この障がい福祉を勉強する会にはいろんな障害の方がいるので手話や文字通訳が必要になってくる。それにお金がたくさん掛かるところが課題としてある。

そのため、障害に対する理解のための啓発活動を続けていくために協力をお願いしたい。

最後に、障がい福祉を勉強する会のメンバーのうち、障害のある人が数人います。

障害を持つ人たちが、自らの可能性を審議し、自らの人生を主体的に選び、社会の中で自立して生きる力を高めることを目的とした支援及び実践をする。

エンパワーメントは障害当事者が自分で考え、納得して行動できるように、伴走する姿勢だと思う。

(委員)

実施された講演会等の広報はどのような手段で行っているのか。

また、2月21日に計画されている防災クッキングはどのような内容なのか。

(障がい福祉を勉強する会)

広報についてはホームページ、いずみメール、広報いずみの主にこの3つで周知している。

またチラシを知っているところに置いてもらったりしている。

防災クッキングは、火を使わなくてもいいクッキングの方法について教えてもらい、災害時に落ち着いて行動できるよう防災に関するスキルを得られるように教えてもらう。

(委員)

障害者の方でも対応できるようにという趣旨があるということか。

(障がい福祉を勉強する会)

はい。

(事務局)

障がい福祉を勉強する会の皆さんありがとうございました。

==和泉きらめきチャリティダンスフェス実行委員会==

事業名：『和泉きらめきチャリティダンスフェス 2025』

私の息子が障害を持って生まれたということで障害福祉の世界で40年活動している。

2011年に初めてこのイベントを企画したが、社交ダンスのプロの先生たちのダンスがすばらしいので、1度一般の方にも見ていただく場を持ちたいと実行委員会を立ち上げた。

ダンスでも車いすダンスや、ブラインドダンスで目の見えない方がダンスを行ったり、いろんなジャンルのダンスを見てもらうということにだんだんグレードアップしていった。

一般のダンス愛好家の方が多く来るイベントなので、障害を持つ、障害者施設に通うメンバーさんの元気いっぱいダンスや、普段目にしない方々と交流を持てる場として、成長してきていると思っている。

去年一昨年は一般の方も障害を持っている方も一緒に踊るコーナーを行った。

普段接することのない障害を持つ施設の利用者さんや、車椅子ユーザーの方と一緒にダンスフェスティバルを楽しんでいただくイベントとして実施してきた。

所属している一般社団法人いずみ障がい福祉サービス事業所団体連合会の方が、実行委員のメンバーになって一緒にすると言ってくれたので今年度はリニューアルして、いろんな方とまた開催することとなった。

今年はキッズダンスなども予定しているいろんな方の楽しいダンスをみんなで見るイベントを予定している。

(委員)

これから先どのように発展させていくか、この会をもっとよくするにはどのようにしていくのか。

また、和泉市にも活動の成果を情報発信するのか。

(和泉きらめきチャリティダンスフェス実行委員会)

キッズダンスを取り入れると、パパママおじいちゃんおばあちゃんも来ていただけると思う。

小学生中学生は無料としているので、若い方からご年配の方、障害がある方、ない方、いろんな方がダンスを通じてその場を共有した、楽しかったという思いを持って帰っていただけるようなイベントにしていきたい。

広報活動は、ポスターやチラシを用意して、各関係団体にも無料招待券を配り広く参加していただくように心がけている。

(委員)

事業の目的の中に、イベントによる収益金を障害福祉向上のために活用となっているが、具体的にはどうい

収益金なのか。

(和泉きらめきチャリティダンスフェス実行委員会)

収益金はチケットを、一般の方は1500円で、二部だけの方は500円で、その他の方は無料としている。

収益はほとんど残ることはないが、障害者団体や施設に寄付している。

(事務局)

和泉きらめきチャリティダンスフェス実行委員会の皆さんありがとうございました。

==療育と子育てを考える会==

事業名：『気がかりな子供への対応を学ぼう』

講演会を大体年2回ずつ、17年、18年ぐらいつと続けている。

講演会ともう1つ、先生学習会というものを立ち上げて、学校の先生方で運営してもらって、事例検討会のよ  
うなことを以前は行っていた。

また、当初から行っている茶話会を、コロナを機に4年ぐら行っていなかったがまた再開しようと思ってい  
る。今年度の8月6日に再開という形で、以前は毎月していたが、2ヶ月か3ヶ月に1回程度で継続できたらと思  
っている。

昨年は講演会を2回し、1つは、強度行動障害についてという初めての題材で行った。

もう1つは、不登校についてだが、不登校についてはもう何回も行っている。

自分の子供が不登校だったので、当初のころ不登校の話をしてもらっているような学びをしたが、今も不登校の  
話になると参加者がすごく多く、昨年も60人ぐら集まったので、年数は経つがこの不登校、ひきこもりとい  
うのは年々厳しくなっているのかなと感じた。

強度行動障害についてはちょっと特殊なので、誰もがあたるわけではないが、これも30人ぐら、先生や保護  
者、福祉関係の方も来られ、皆さん手だてに困っているということ、アンケートを見ても感じた。

今年度は、アンケートに要望も書いてもらうが、基本に戻って発達障害の基礎という形で、10月の分は実施し  
ようと思っている。

あともう1つ、アンケートで就学前のお子さん対応について欲しいという要望も多いので一緒にこの基礎  
の部分に入れて講演してもらおうと思っている。

2月の分は、まだ題材は決めてないが茶話会も再開するので、参加する方やそのアンケートから題材を決めたい

と思う。

(委員)

この講演をして還元してもらえたというような成果はあるか。

(療育と子育てを考える会)

成果と言うかわからないが、もう 10 年以上経っているがまだ 50 人以上が来てくれている、新しいお母さんたちや新しい福祉の方とか先生の方、若い方がまだ来てくれていることが成果でしょうか。

(事務局)

療育と子育てを考える会の皆さんありがとうございました。

これをもちまして、本日の審査会はすべて終了いたします。

申請団体の皆様には、審査結果として、後日、交付決定通知書または不交付決定通知書を送付します。

なお、この後審査委員による審査を行いますので、申請団体の皆様はご退席をお願いします。

長時間にわたり、どうもありがとうございました。

---

**【委員審査】**

(委員)

(採点)

(事務局)

(集計、順位・結果発表)

(審査会終了)